

自ら人生を切り拓く人を育てる。

清修の卒業生たちをご覧いただけましたでしょうか。彼女たちは、はじめから特別な能力や才能が際立っていたわけではなく、ごく普通の生徒として入学してきました。

清修ではすべての生徒が同じ授業を受け、同じ時間を共にしています。

仲間たちと過ごす6年間の中で、お互いを認め合い、一人ひとりがそれぞれの「なりたい自分」を見つけ、生きる力を身につけ、自分の輝ける道へと羽ばたいていった生徒たちです。

勉強は、受験のためだけのものではありません。

身につけた知識や技能を生かし、豊かな人生を切り拓くためのものです。

可能性あふれる柔軟な十代のうちに、

自ら考え判断し解決する行動力を開花させること。

それが私たち清修の使命です。



報告・連絡・相談のためのツール

清修では日頃から用途に応じた連絡ツールでコミュニケーションを取っています。

担任と生徒一人ひとりをつなぐ

中1から卒業まで、毎年1冊配付されるスケジュール管理および記録帳です。小テストやAT(定期試験)、イベント活動等、すべての予定を書きます。計画を立て計画通りに実行できたかどうかの振り返りをし、期限までに提出することを日常的に習慣づけます。担任との交換日記のようなもので悩みも相談しやすく、さまざまな困難を乗り越えた証として受験のときにお守りとして持ち歩く生徒も多くいます。



担任

生徒

スコラ

全教員と全生徒をつなぐ

クラス・学年・委員会・エリコラなど、教員と生徒グループでのやりとりを使用することができるツールです。文字だけでなく動画や画像などのデータをグループで共有できるので、さまざまな報告・連絡に使われています。



全教員

全生徒

Classi
(クラッシー)

学校と家庭をつなぐ

生徒の様子を家庭と学校間で共有できるシステム。個々の直接連絡にも使用します。

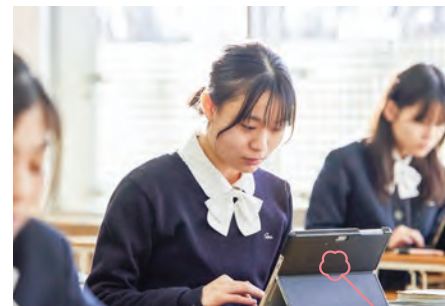


学校

家庭
生徒

SEISHU
ねっと

保護者様からのメッセージ ●ペーパーレスで予定などを調べたい時にすぐに調べられるのが便利。●遅刻・欠席連絡はもとより、子どもが精神的に不安定なときにも担任の先生に相談することができ、助かりました。●海外研修中の様子が毎日配信され、安心しました。



ICT活用スキル

中学生からマイクロソフトサーフェスを全員に貸与。オンライン授業やミーティングはもちろん、Excel、Word、PowerPointなどで資料作成、アプリを使った動画の編集など、高いパソコンスキルが身につきます。



万が一のときも通常時と変わらず、教員へ生活の相談や授業の質問ができるよう、環境を整えています。オンライン授業時に身につけたスキルは平常時にも活用し、生徒同士でのオンラインミーティングなども活発に行われています。



6年間を通したカリキュラムと「対話的な学び」

1～3年生までは、基本的な学ぶ姿勢や、知識に対する興味関心を高め、4～6年生では、さらに個々の進路に合わせた授業計画を編成し、学びを進化(深化)させていきます。清修の授業は常に全員が発言し、意見を交わすことができる「対話的な学び」を取り入れています。授業の中で考えて発表する機会を多く設けているので、一人ひとりが主役となるのです。また、全教科でグループワーク、プレゼンテーションの機会が多いのが清修の特徴です。



MKSプロジェクト

清修では、6年間で全員がリーダーになる経験をします。この「M(みんなが)K(輝く)S(清修)」プロジェクトでは、授業内のグループワークなどのほか、委員会活動や行事で自分の役割に責任を持ち、主体性や協働力を身につけていきます。



これからの時代に求められているのは、 正解のない問題に自分で答えを導き出せる力です。

今、国の教育方針は転換期にあります。

国の方針を反映し、穴埋め問題に答えられるだけでは、

国公立・私立 GMARCH 以上の大学合格は難しくなっています。

未来を担う若者へ私たち学校が育てなければならないのは、自分で考え、答えを導き出す力。

これは清修が創設当初から掲げてきた「フロンティア精神」そのもの。

全教科連携し、さまざまな機会を用意して生徒の能力を高めていきます。

英語 ネイティブスピーカーの教員が英語への自信や自立心を育み、日本人教員が論理的に解説し理解を促します。両方の目線から授業を進め、4技能[読む・書く・聞く・話す(会話・発表)]をバランスよく学び身につけます。

理科 身のまわりの不思議な現象に疑問を持ち、謎解きをするように授業を展開しています。中学校では幅広くさまざまな実験や観察の経験を蓄積し、高校ではその蓄積されたデータをもとに探究していきます。

社会 社会は暗記科目ではなく、知識プラスアルファの問題解決力が必要な教科です。清修では、知識の先にある面白さを生徒自身が作り上げる授業展開を心がけ、楽しく社会の力を伸ばしています。

Close-up Curriculum 【好奇心がかきたえられる理科の実験】

・火山灰の観察(中学・地学) ・ラムネ作り(中学・化学)

中学校の理科の教科書がすべてわかると、社会人として必要な知識が備わると言われています。体験授業で楽しみながら理科の知識を身につけてほしいと思います。(小沼先生)

・ペットボトルで雲を作る(中学・地学)

先に答えを与えず、材料と結果を見せて「なぜ？」と考察させる方法で思考力を鍛えるようにしています。生徒一人ひとりの個性を見定め、興味ある分野を伸ばしてあげたいと思っています。(中村先生)

・紙おむつの分解(高校・化学)

一般的な中学校では、高校入試のために生物・地学・物理・化学を駆け足で学んでいきますが、中高一貫の清修では理科の面白さに歩み寄りやすいようにカリキュラムを組んでいます。中学1年では生物・地学を中心に生活の中の素朴な疑問を解き明かすような実験を多く取り入れ、考える力と観察力を育てています。高校になると理系選択の生徒に向けてより高度な実験を行っています。(藤井先生)



探究的な学び



予測困難な時代を生き抜く力を身につける
清修の探究的な教科連動カリキュラム。

たとえば、海外研修へ出発する前に、社会科では各研修で訪れる国の歴史、地理、芸術、政治について詳しく学習します。さらに社会科で学んだ知識をもとに各自が研究テーマを設定し、事後レポートを書く準備を国語科で進めます。



国語 自分の考えを自分の言葉で自由に表現することを目指します。他者の意見を聞き自分の意見を述べるグループワークを多く取り入れ、受け身ではなく積極的に授業に参加し楽しめるよう工夫しています。

数学 中学校から始まる「数学」はみんなが初心者です。小さなつまづきを見逃さないように、生徒一人ひとりに寄り添った指導を6年間でを行っています。基礎から確実に積み上げて総合的な問題解決力へとつなげていきます。

教科連動カリキュラム

幅広い学びから総合的に考察し表現できる力を養っていくことを目的に、教科連携して生徒のスキルアップを図っています。

「カリキュラムの組み合わせ例」	英語	社会	海外研修へ出発する前に、社会科の各研修で訪れる国の歴史、地理、芸術、政治について学習する
	社会	国語	社会科で学んだ知識をもとに各自が研究テーマを設定し、事後レポートを書く準備を国語科で進める
	理科	国語	実験後に考察や結論をまとめるレポートを作成し、文章力を鍛える
	社会	英語	国内外の時事ニュースについて知識を深め、自分の考えを英語で表現する

総合的な取り組み【5000字論文】

中学校で身につけた国語力の集大成として高1で取り組みます。全員が自分でテーマを決め、「5000字論文」を作成します。改革が進む大学入試で必須の要素「思考力、判断力、表現力」のすべてを向上させる取り組みです。生徒一人ひとりに担当教員が付き、何度も指導して完成を目指します。コンクールで最優秀賞などが選ばれば表彰されます。



14期生論文テーマ(一例):最優秀賞「野良猫のいない社会に向けて」優秀賞「日本の文化的観点から見るハラスメントの原因」「カーボンニュートラルに対する自動車企業の取り組み」など

中高一貫校だからこそできる、6年間を通した英語の学び

教科を越えて日常的に英語が使えるようになる
清修の英語プログラム

清修では6年間を通して英語のスキルを高めるさまざまな機会を用意しています。
フルタイムで勤務する5名のネイティブスピーカーの教員と授業以外の時間にも気軽に話すことができます。
また、All Englishの授業を通して、聞く力と話す力が自然に身につく、
自分の考えを英語で表現できるようになります。

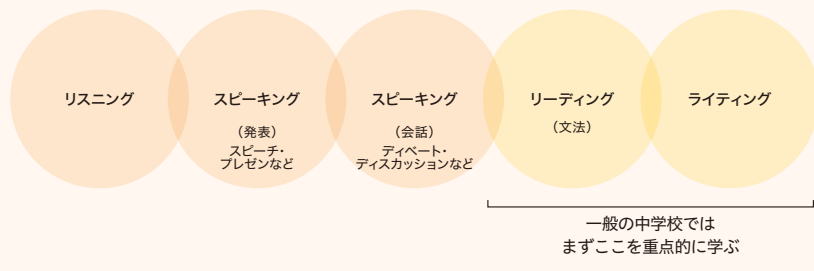
「英語を好きになる」カリキュラム

清修の英語教育では、中学の3年間で英語に慣れ親しむためにリスニング、スピーキングを重点的に授業を行います。教材もオリジナルでゲーム要素の多いものを使用し、まずは楽しみながら英語に慣れることから始めます。中学

での英語の学びを基盤とし、高校では難関大学入試を突破できる学力を培います。また座学だけではなく、英語でのプレゼンテーションや海外研修など、能動的に学ぶ機会が多くあります。



清修の6年間は、すべてのスキルを学ぶ



All Englishで展開される授業

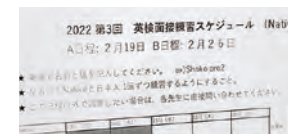
ネイティブスピーカーの教員が5名フルタイムで勤務しており、1週間に7回ある英語の授業のうち、5回はネイティブスピーカーの教員が展開しています。また、授業以外の時間にいつでも英語を話せる環境が整っています。

ネイティブスピーカーの教員は、全校生徒のファーストネームを覚えています。1クラスの授業に先生が2人、授業以外でもいつでも会話できる清修だからこそ、先生との親密度が違います。もちろん生徒から先生を呼ぶときも、「〇〇先生」ではなくファーストネームです！



高い英検取得率を達成

ネイティブスピーカーの教員と日本人教員による徹底した二次試験対策で、毎年高い合格率を誇ります。一人最低でも2回は個別に面接練習の場を設けて、生徒一人ひとりにきめ細やかな指導を行っています。



英検の試験間近になると貼り出される面接練習予約表。先生の空き時間を見て生徒が名前を書き込みます。▲

高校1年生で
英検準1級に合格する
生徒が毎年おり、
全国平均を大きく
上回る取得率の実績を
挙げています。

2級・
準2級
取得率

中3で
47%

準1級・
2級
取得率

高1で
32%

合格率わずか
10%と言われる
英検1級に一発
合格した高3の
生徒もいます！

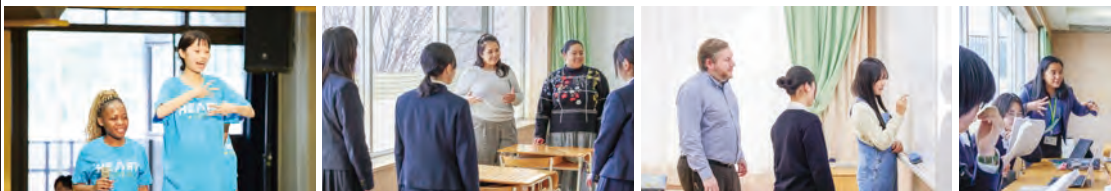
インタビューテスト／スピーチテスト

清修では、年に4回、ネイティブスピーカーの教員とインタビューテスト・スピーチテストを行っています。このテストの準備のために、事前に日本人教員と1対1でスピーチ練習を行い、英語原稿(テーマに沿って生徒がエッセイを作文)も個別に添削。授業以外の時間に、個別に英語の教員と接する機会が多いのも清修ならではです。



Pick UP! Curriculum 英語【英語ディベート(論理と表現I・II)】

近年、大学入試では英語ディベートの力を高く評価しています。中学校で身につけた英語の基礎力を使い、高校では英語でのディベートに挑戦します。



英語【SDGsのプロジェクト学習】 全校生徒が英語を使って、世界が抱える課題のSDGs※の17のゴールを学び、発信します。※SDGs…持続可能な開発目標

学内行事・毎日の学習

English Expo. (中学生)

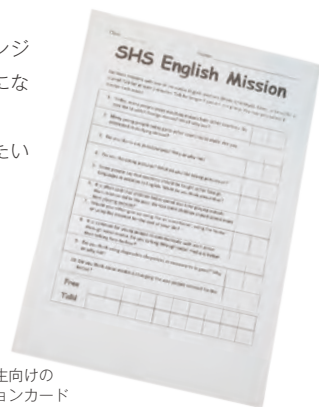
1年間の英語の授業の集大成として、年度末に開催される「English Expo.」。クラスごとに英語でのスピーチや歌、英語劇を保護者や新入生の前で披露します。企画から運営まで生徒主体で行い、毎年とても楽しく盛り上がるイベントとなっています。

ミッションカード(全学年)

お昼休みや放課後、ネイティブスピーカーの教員との会話にチャレンジできる「ミッションカード」。中学生では「出身地」や「趣味」、高校生になると「政治」「環境」「社会問題」などのテーマを用います。いつでもチャレンジOK、実力を試したい、会話力をレベルアップしたい生徒に大好評。英語が好きな生徒は毎日やっています！



▶ 高校生向けの
ミッションカード



学外行事

英語宿泊研修(中1)

入学してすぐにネイティブスピーカーの教員と行く1泊2日のオールイングリッシュで行われる英語宿泊研修があります。同級生や先生方との距離も縮まります。

留学生交流授業・英語国内研修(中2)

3泊4日の英語国内研修の行き先は京都・広島。日本の伝統文化や歴史をテーマに、英語を母語としない国の留学生たちと交流します。インド、イラン、インドネシア、台湾、マリなど、世界中の人と英語で意見交換する体験で国際感覚が磨かれます。事前・事後学習もあり、1年間かけて研修のための勉強や準備を行う一大イベントです。



校外学習(中2・中3)

体験型英語学習施設の東京英語村「TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)」。『キャンパスゾーン』や『ホテルゾーン』など、海外での生活を類似体験し、英語の実践経験を積みます。



全国英語ディベート大会

各県の代表が参加し、国内最大規模の日本一を決める英語ディベート大会(全国高校英語ディベート連盟・HEEnDA主催)の運営に清修の英語教員の指導のもと関わっています。また、準備型・即興型のディベート大会にも選手として参加しており、中学生から高校生まで一緒に世界のさまざまなトピックを学びます。大会に参加して全国の高校生とMake Friends!友達もたくさん作ることができます。

海外研修/カナダ(高1)

2週間(ホームステイ10日間)カナダでの海外研修を実施。現地校での授業、歴史・異文化教育を含むアクティビティを体験します。日本文化を発表する機会もあり、自分たちで企画・運営を行います。ホームステイでの滞在となるので、ホストファミリーとの生活では異なる価値観や習慣に触れることができ、大きな刺激になります。

Report 2023年度は、現地の生徒と一緒に授業を受けたり、現地旅行会社で職業体験をしました。学校や会社のシステムの違いを直に見て感じることで、進学や就職の道に海外も選択肢として考えられるように視野が広がります。研修前は不安を感じていた生徒も、日本から出て海外で過ごすことで家族への感謝の気持ちに気づき、精神的に大きく成長し自信をつけて帰ってきます。



Pick UP! Curriculum 理科【身近なもので実験】

ペットボトルはなぜ浮かぶ？紙オムツはなぜ水が漏れない？身近な素材を分解し、構造を観察。実体験は教科書の暗記より強く記憶に刻まれ、探究心を刺激します。



社会【調べたことを表現】 国別の気候を学ぶ地理の授業では、グループ分けをしてそれぞれ違う国の気候を調べ、各班が旅行会社になりきってその国のCM動画を作ります。また、歴史上の人物や出来事のカルタを作り、カルタ大会を開催。教科書の内容を覚えるだけでなく、生徒自身が進んでやりたくなるような発展的な授業を行います。



“できる”が増える学校

さまざまな挑戦をし、“できること”をコツコツ積み重ねている環境です。

理科では実験を多く取り入れた授業を行なっています。毎年高校の生物で行っている豚の眼球の解剖では、水晶体がすごく綺麗で新聞の上に置くと文字が拡大されることに生徒たちは驚きます。実物に触れて感動すると構造や現象について心から納得し、本当に役に立つ知識として身につきます(理科/生物担当・中村先生)



清修の学校説明会に参加すると、「女子校」のイメージが変わるんじゃないかなと思います。先生がフレンドリーで生徒全員がフラットな関係で楽しくやっていることがよくわかります。(4期生/Y-Iさん)



全教科・全教室で電子ボードを利用

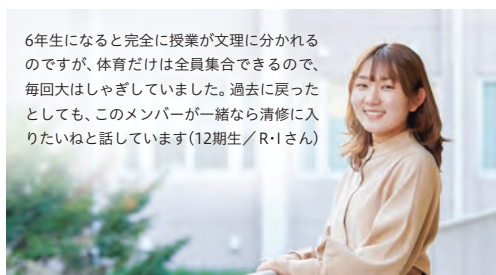
板書と電子ボードを併用し、スライドショーのアニメーションや画像を活用してわかりやすく楽しい授業を行っています。

My Favorite Seishu #02

卒業生や先生に、清修の好きなところや魅力をきいてみました

笑顔あふれる清修生の1日をご紹介します。

清修の毎日には、学びを深めるきっかけがたくさんあります。どんな日々を過ごしているのか、清修生の1日に密着してみました。



6年生になると完全に授業が文理に分かれるのですが、体育だけは全員集合できるので、毎回大はしゃぎしていました。過去に戻ったとしても、このメンバーと一緒に清修に入りたいねと話しています(12期生/R-Iさん)

One Day 清修の1日

Start! 8:10 8:20 8:50 12:40

登校 朝学習 午前授業 ランチ

▼朝学習では自習をしたり読書をしたり。自分のスタイルで1日を始めます

▼毎朝25分間、英国数の基礎力アップの他、タブレットを用いてICTスキルを養います

▼今日の体育は創作ダンス。振り付けも自分たちで考えます!

▼清修ではチャイムが鳴らないため、授業の準備も自分で考えて動きます

▼分らないことがあっても、気軽に質問できます

▼白梅学園大学の生協売店や食堂も利用できます

Yummy♡

>Welcome! Seishu♡

▼週に1回、エリアコラボレーションの活動があります

Science

午後授業 13:30

▼この日はバレンタイン。メッセージが書かれたカードを使ってやりとりしました

▼白衣を着て理科の実験。この日はお酢を使った実験をしました

15:20 15:30

清掃 放課後

▼先生と友だちと一緒に。自習室でひとり集中。それぞれのスタイルで勉強できます

▼きれいな校舎は、生徒たちみんなの自慢です

See You!

Good bye